

上海日本人学校虹橋（ほんちゃお）校

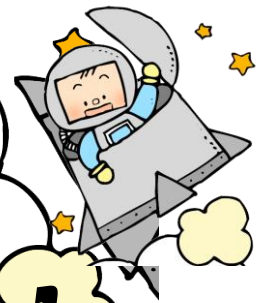
日本人学校だより 大黒晃嗣

げんきがあれば なんでもできる

平成25年8月6日（火）

NO

1



元気ですかーっ！

鳥取県の皆様、元気ですかーっ！元気があれば何でもできる！

というわけで、今年度、上海日本人学校虹橋（ほんちゃお）校に派遣されました、鳥取市立久松小学校所属の大黒晃嗣（だいくく あきつぐ）と申します。よろしくお願いします。

さて、上海に派遣されてちょうど4ヶ月がたちました。2週間前の7月24日水曜日には終業式が行われ、1学期が無事(!?)終了しました。初めての海外生活に加え、初めての1年生担任ということで、怒濤のように日々が流れていき、あっという間の1学期でした。2学期（8月19日始業式）に向けてさらに気合いを入れ、がんばっていきたいと思います。

家族5人（私・妻・0才、2才、4才の子どもたち）での日常生活の方にもようやく慣れてきましたので、日本人学校の様子や上海生活の様子、上海の素晴らしさなどをこれから少しずつお伝えしていけたらと思います。

上海の現状

昨年は中国各地で反日デモがあり、日中関係の悪化が取り沙汰されました。今年に入ってから大気汚染の問題、また、私が4月に上海に来る直前から起こった鳥インフルエンザの問題も日本で大きく報道されたのではないのでしょうか。

実際、この3点については日本にいる大勢の方に心配していただきました。そこで、まずこの3点について、現地で生活している者の実感として簡単に触れておきたいと思います。

①日中関係

この4か月間、反日感情に直面したことはありません。むしろ、とても親切にしてくださる方々の多さを感じています。我が子と電車に乗っていると席を譲ってくださったり、0才の子どもを見て「今、何ヶ月？」とか「足が冷えるから靴下履かせた方がいいよ。」などと気さくに声をかけてくださったり、子どもに対する見方の温かさを特に感じます。

②大気汚染

大気汚染がひどい地域として北京がよく取り上げられますが、上海の空気もきれいとは言いがたいのが正直なところです。上海では、大気汚染の状況を汚染指数として具体的な数値で知ることができます。4、5、6月は数値の高い日が続いていましたが、7月は少し落ち着いていたような印象でした。（それでも、鳥取よりは高いかもかもしれませんが…。）また、街を歩いていても空気の悪さを体で感じることもありますし、さっきまで見えていた遠くの景色が1時間後には見えなくなるなど視覚的に分かることもあります。ただ、我が大黒ファミリーは至って元気に暮らしております。日本人学校としての対応は今後の日本人学校だよりで詳しくお伝えできたらと思います。

③鳥インフルエンザ

鳥インフルエンザ関連の情報は、日本国総領事館を通して日本人学校にも伝わってくるので、早めに詳しく情報を知ることができました。上海で死者が出たという情報が流れた時は緊張しましたが、人から人への感染まで発展することはないので、とりあえずは安心しました。今は、落ち着いています。日本人学校では、鳥との接触を避けるよう注意を促したり、1年生で予定していた上海動物園への校外学習を無期延期にしたりするなどの措置を取りました。

○上海ではこのところ、猛暑が続いています。先日は40度超えの記録的猛暑日もありました。鳥取でも暑い日が続いていると思われます。（豪雨の影響も心配です。）この夏、鳥取の海に入ることができないのが大変残念ではありますが、暑さに負けず、お互いがんばりましょう。

上海日本人学校のこれまで

上海日本人学校の前身は、日中国交正常化の3年後にあたる昭和51年(1976年)2月7日に虹橋(ほんちゃお)にて発足した「上海補習校」です。当初は週1回の授業しか行っていませんでしたが、間もなく全日制の補習校となりました。そして、昭和62年(1987年)に「日本人学校」として正式に設立され、今年度で27年目を迎えることになりました。近年、児童・生徒数は増加の一途をたどっていて、平成17年度には2000名の大台を突破し、その児童・生徒数の増加に対応するため、平成18年度に「浦東(ぷーどん)校」が開校しました。浦東校に中学部全部と小学部の一部が移り、これまでの「虹橋(ほんちゃお)校」には小学部のみとなりました。また、平成23年度には浦東校に日本人学校としては世界で初めて高等部が設立されています。



というわけで、現在の上海日本人学校は、世界でも最大級の日本人学校になっています。

虹橋校～人数の多さにびっくり～

私が勤務している虹橋校は、本年度、児童数1,538名全学級数50学級(特別支援学級1を含む)でスタートしました。教職員の数は中国人スタッフを加えると100名以上(その中で新着任者27名)います。鳥取ではありえない規模の学校で、その数を聞いただけでびっくりしました。



4月の着任式・始業式当日、初めて全校児童を前にしました。着任教員が27名いることにも驚きましたが、1年生270名を除く約1,250名の児童が体育館に集合している姿を目の当たりにし、その迫力にさらに驚きました。



上段中央でがちがちに緊張しています。

「すごい数だな。」「1年生入れるのかな。」「一番後ろの子は、前が見えるのかな。」などと思いながらステージに立っていたのを覚えています。最初は、人数の多さに不安な気持ちもありましたが、27名の着任教員の話真剣な眼差しで聞いている姿を見ると、鳥取でも上海でも子どもたちの純粋さは同じだなとも思い、不安な気持ちが薄れていきました。

始業式の日午後には入学式も行われ、上海で初めて担任する可愛い子どもたちとの出会いを果たしました。

始業式の日午後には入学式も行われ、上海で初めて担任する可愛い子どもたちとの出会いを果たしました。



びかびかの1年生担任です。

○今年度、1年3組の担任を任されました。(何と、1年生は10学級もあります!) 教員11年目で初めての1年生担任に少々緊張しましたが、とにかくスタートしました。怒濤の1学期の様子次号以降でお伝えします。